

講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 81kg級で河原正太選手が2連覇 100kg超級で須藤紘司選手が準優勝

11月20日、21日の2日間にわたり、千葉ポートアリーナ（千葉市）を会場に第36回講道館杯全日本柔道体重別選手権大会が行われ、男子81kg級で当社柔道部の河原正太選手が2連覇を達成。また、100kg超級で須藤紘司選手が準優勝に輝きました。



▲決勝戦で内股の一本を決める河原選手(上)



▲トロフィーを手にする河原選手(左)と須藤選手(右)

体重別柔道日本一を決める同大会は、来年の世界選手権（パリ）代表の一次選考を兼ね、2日間にわたり熱戦が繰り広げられました。高校や大学、実業団など各方面から選出された411人の代表選手が、男女各7階級において争いました。

20日の男子81kg級（出場33選手）に出場の河原選手は、5戦を勝ち抜き2連覇を達成しました。

初戦（対野村選手／神奈川県警察）の2回戦で中盤に足払いの一本勝ちを収め、続く3回戦（対中川選手／日本大学）では終盤に大腰で一本を奪い勢いに乗ります。準々決勝（対北野選手／國學院大学）では、拮抗した試合運びとなり、勝負はゴールデンスコアの延長戦へ。中盤で放った内股が一本となり、準決勝に駒を進めます。準決勝（対松本選手／兵庫県警察）では、中盤に内股で技ありを奪い優勢勝ちを収めました。

昨年と同じ顔合わせになった決勝戦（対中井選手／流通経済大学）では、互いに譲らず5分の試合時間が過ぎ、延長戦にもつれ込みます。延長戦では、相手の攻撃をうまくかわしながら開始1分50秒に内股で一本勝ち。見事2連覇を達成しました。

今回優勝した河原選手は、12月に東京体育館で開催される国際大会「柔道グランドスラム東京2010」への出場が決定しました。

一方、強豪が揃う100kg超級（出場28選手）に出場した須藤紘司選手は、準決勝戦（対王子谷選手／東海大学付属相模高校）に開始15秒で一本勝ちを奪うなど、4戦を勝ち抜き決勝に駒を進めます。決勝戦（対百瀬選手／国士舘大学）では、相手の攻めにペースをつかめないうまま2回の指導を取られ優勢負けに屈し、準優勝となりました。